

【自由意見などへの回答（木田まちづくりセンター）】

Q. 市が空き家を解体処分する補助制度ができないものか。現行制度以上を求める。

A. ご指摘の課題を委員会の中で共有しました。ご意見を参考に、今後議論していきます。

Q. 市の箱物事業全体について危惧。福屋跡地の 1F 使用目的の分かりにくさ。浜田城資料館、神楽伝承館、瀬戸ヶ島埋立地の現状など。

A. 引き続き分かりやすい説明を求めています。

Q. 議会として消防団員確保に向けて取り組んでほしい。

A. ご指摘の課題は委員会の中でも共有しております。引き続き議論していきます。

Q. 空き家バンクに入居を検討される方向けに、地域活動への参加を条件にするとホームページ上で明示可能か。

A. 地域活動への参加を必須にすることは難しいと考えますが、共助の促進は図られる必要があると考えます。地域活動の継続・活性化の方策については、委員会内でも引き続き議論していきます。

Q. 心の健康が心配。元気になれる要素がない。サロン等に来られない人の移動手段確保も特区を含め検討してほしい。

A. 中山間地の移動手段の確保は全国的な課題でもあり国においても様々な方策が検討されています。タクシーを活用したドア・トゥ・ドアの交通手段も考えられていますが、厳しい経営環境のなかで事業者も保有台数も減少している中、従来からの法規制を見直す動きも出ています。地域特性やニーズに合った移動手段について、地域組織、行政、議会が連携し整備していく必要がありますので、今後もあらゆる場で意見を伺い、特区等モデル事業の可能性についても研究していきたいと思っております。

Q. 医療センターの放射線治療機器が壊れ、当分使えない状態。出雲や県外に通わなければならぬ困っている。高額な修理費がかかるため直る見込みもないと聞くと、なんとかならないものか。

A. 浜田医療センターでは、令和 4 年 12 月末に放射線治療装置（リニアック）の保守期間が終了したため令和 5 年 1 月から治療を休止し、令和 6 年 2 月頃の再開に向け更新準備がされています。治療を必要とする皆様に不便をおかけしていることを市も重く受け止めています。今後は医療センターの医療機器更新計画を県とともに情報共有の場を設け、県と協議してき得る支援を行うこととなっています。

Q. 浜田市は漁業に力を入れているが、中山間地に生活していて林業のことが見えない。山林の樹木を伐採しているが、その後植林をされているのか。

A. 浜田市は面積の約 8 割に及ぶ豊富な森林資源を有しています。引き続き森林環境譲与税を有効活用し、健全な森林環境の整備や地域林業の活性化などが行われるよう調査研究を行い、機会を見て委員会代表質問等で働きかけてまいります。

Q. 農地管理と課税について、高齢化で管理が困難な状況なのに課税の増額が示された。

A. 遊休農地について課税対象となる場合があります。農業委員会へ詳しく丁寧に説明するよう働きかけます。

Q. お魚市場について、もう少し魅力があり地元の方にも向いた体制が必要では。

A. 産業建設委員会では所管事務として調査しておりますが、今後も必要な体制や方策について対応するよう働きかけてまいります。

Q. 米価の低さ・米離れについて

A. 産業建設委員会内や一般質問等で取り上げてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800